

完成した風車の下で式典が営まれた。長島町



風車壊す風の乱れ探る 長島に発電所

風力発電の風車を破壊する危険のある風の乱れ(乱流)の影響を探るため、東芝が九州大と共同で解析する新長島黒ノ瀬戸風力発電所が長島町に完成し、開所式が13日、現地であった。東芝製の風車2基を使い、全国的にも例のない実証試験に乗り出す。

開所式には、発電所を運

営する東芝100%出資のシグマパワージャネックス社(福岡市)や東芝、九州大の関係者のほか、地元の小添健町長らが出席した。乱流は、山地のような複雑な地形で起きやすいといわれている。渦のような風の直撃を風車がしばしば受けた結果、15〜20年という耐用年数が来る前に突然壊れることがあるという。風車2基にそれぞれ300種

の計測機を取り付け、風の状況と風車にかかる力や振動を調べる。

(田中啓介)